

職員さんに聞いてみよう!

理学療法士

ちゃんに聞いてみた!!



特養事業部リハビリ課
課長 高倉 哲也

第4話

「ノーマリフティングケア推進施設に登録されました」

2020年4月1日付で、大分県からの依頼によりノーマリフティングケア推進施設(以下推進施設)として特別養護老人ホームいずみの園が登録されました。ということで、第4話目となる今回は「推進施設の役割」についてのお話をさせていただきます。

大分県は、2018年度から県内介護事業所向けに、ノーマリフティングケアの拡散・定着による「介護労働環境の改善」を目的とした普及促進事業が展開されています。当園は、昨年度本事業に参加し、1年間かけてノーマリフティングケア導入に向けた準備を行ってきました。推進施設登録までの流れとしては、新たにノーマリフティングケアを導入した施設の中から、推進施設として活動可能な施設に対して、県が協力依頼をかけるという流れとなっています。

2018年度から今年度にかけて、大分県に登録されている推進施設は、当園を含めて10施設となります。以下に推進施設の業務内容について記します。

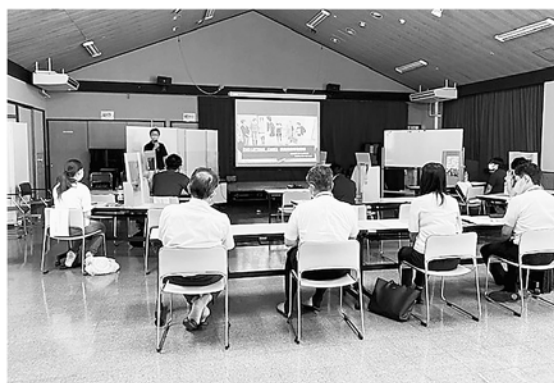
1. 推進施設における実地研修の実施

- (1) 施設内見学 施設環境、ノーマリフティングケア実施場面の見学等
- (2) 講義 スタッフ意識改革・技術習得、職場内の環境整備、ノーマリフティングケア定着へのマネジメント等について
- (3) 課題検討 研修参加者からの質問、課題等について指導・助言を行う。

2. ノーマリフティングケア新規取り組み施設における実地研修の実施

- (1) 施設訪問 新規取り組み施設の見学、ノーマリフティングケア導入に係る目的・目標設定、身体の使い方の習得指導を行う。
- (2) 実地研修 第1部
推進施設指導者が、新規取り組み施設の教育担当者等にノーマリフティングケアにおける福祉機器の試用方法等の指導を行う。
- (3) 実地研修 第2部
現場職員への伝達講習を行う際に、推進施設指導者が適宜、助言・指導を行い、新規取り組み施設のケアマネジャーの育成を図る。

8月12日(水)、推進施設としての初仕事があり、新規導入を検討している県内3施設を受け入れる実地研修が当園にて開催されました。研修内容としては、当園におけるノーマリフティングケアの基本方針について市川施設長に講話していただきました。その他には、活動内容や施設内環境整備、活動実績や課題など、座学だけでなくグループ討議や福祉機



器・用具体験を実施しました。コロナ禍において研修に参加する施設側も、受け入れる我々も双方ともにヒヤヒヤしながらの研修会だったのですが、参加されたどの施設職員とも積極的な意見交換ができるなど、大きな問題なく無事に終えることが出来ました。参加された各施設にとって、何か一つでも得られるものがあればと願います。

最後に、推進施設という大役を引き受ける当園の覚悟について。
施設長曰く「ノーマリフティングを導入しているという看板・旗を掲げることで、後に引けなくなる。退路を断つ。やらなきゃいけない環境に自らの身を置くということが、言葉先行になって浸透・継続できなかつた過去からの成長に繋がる。」との意向であるとのことから、身の引き締まる思いがしました。

さて、今回は若干堅めの内容でしたが、次回、ノーマリフティングケア推進施設として力を入れなおした当園の活動実績についてお知らせできればと考えています。



ノーマリフティングケア推進施設研修会の様子